



# DENTAL 通信

2017.4  
青山歯科医院

## ■重度の歯周病は認知症の引き金に■

世界でいちばん多くの人がかかっている病気としてギネスに載った歯周病は、30～50代で約8割、60代では約9割がかかっているといわれる国民病です。そのせいか逆に歯周病になってもあまり重く受け止めず、歯茎が赤っぽくなっている程度では気にしない人も多いのではないのでしょうか。

歯周病は、歯と歯肉の境目の溝に歯周病菌が溜まることで歯肉が炎症を起こし、ひどくなると歯を支えている骨が溶け、歯が抜け落ちてしまいます。

重度になると口の中だけでは済まず、毒素が血管内に侵入して認知症、脳出血、肺炎、心筋梗塞など命を奪いかねない病気の引き金となるのです。

歯周病菌の持つ毒素が血管を傷つけるので、血管がもろくなって出血しやすくなります。結果、脳梗塞やリウマチになりやすくなるというもの。また、子宮の収縮を引き起こす物質がつくられるため、妊婦の場合は早産する可能性が歯周病ではない人に比べ7倍程高まるといわれています。高齢者の場合は、食べ物を飲み込むときに歯周病菌が肺に入ってしまう、誤嚥性肺炎の原因にもなっているとされています。最近の研究では歯周病菌の毒素の影響で、血糖値を下げるインスリンの働きが妨げられることが証明されているとのことで、歯周病を治療すれば糖尿病がよくなることがわかり、かつては不治の病とされた歯周病の治療法について、厚生労働省主導のもと、内科と歯科医が連携して取り組む動きもさかんになっているそうです。

歯周病の治療と予防は、重症化した患者さんの場合は歯茎の奥に入り込んでしまった菌を手術で取り除くこともありますが、基本的には歯科医院でクリーニングをして口内を清潔に保てば治るものです。口の中の菌は3か月で倍に増えるので、3か月に1度はクリーニングし、普段から菌の数を減らしておくことが歯周病の予防になります。



## ■歯周病の度合いをチェック■

- ①歯茎が下がって、歯が長く感じる
- ②生活が不規則である
- ③歯と歯の間にすき間ができた
- ④口臭が気になる
- ⑤冷たい水がしみる
- ⑥歯茎から膿が出る
- ⑦朝起きた時に口内が粘つく
- ⑧歯を磨くと血が出る
- ⑨歯がグラついている
- ⑩歯茎の色が赤く腫れている

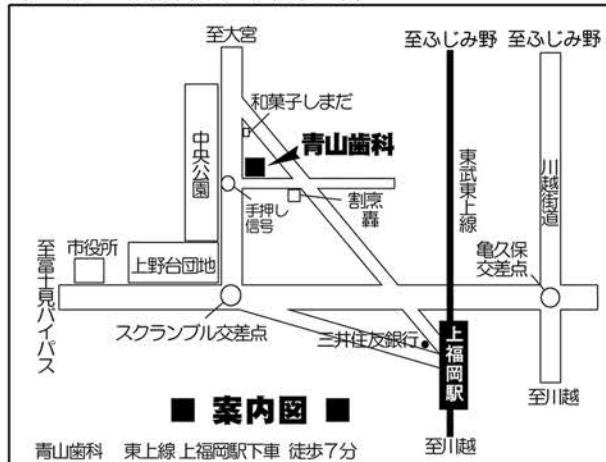
**【該当1：軽度】** 歯周病菌が歯の周りの組織の中に進入し、歯を支える骨や組織を溶かしはじめています。

**【該当2～6：中度】** 歯茎が腫れていたり、歯がぐらつきはじめるのが中度の症状です。

**【該当7以上：重度】** 歯の周りの骨がかなり溶けてしまって歯がぐらぐらしています。ここまで悪化してしまうと、自分で気付いていなかったとしても、口臭がきついです。

## 青山歯科医院

埼玉県ふじみ野市福岡中央 1-2-8  
東上線 上福岡駅下車徒歩7分 Tel 049-262-1068

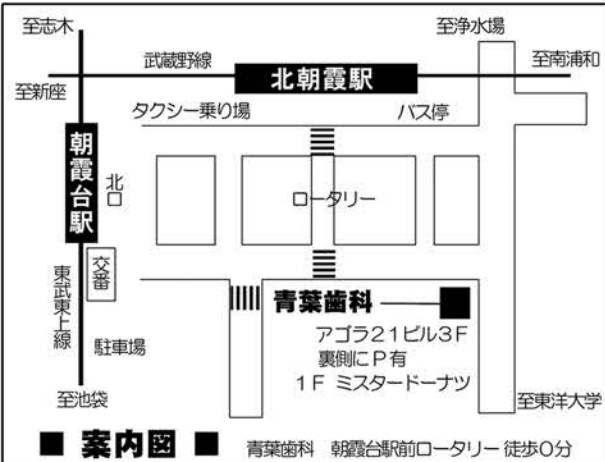


■案内図■

青山歯科 東上線 上福岡駅下車 徒歩7分

## 青葉歯科医院

埼玉県朝霞市浜崎 1-2-10 アゴラ 21ビル 3F  
朝霞台駅前 Tel 048-474-8246



■案内図■ 青葉歯科 朝霞台駅前ロータリー 徒歩0分



❀お子さんの虫歯ゼロを目指して!!❀  
キッズクラブ【GOOD SMILE CLUB】始めました  
スタッフまでお気軽にご相談ください